

地域再生大賞1次選考

自然塾寺子屋(楽)など50団体

地域活性化に取り組む団体を支援しようと、上毛新聞社など全国の地方新聞社と共同通信社が設けた「第6回地域再生大賞」の第1次選考を通過した50団体が19日、出そろった。自然保護や文化の継承、新たな産業づくりなど活動は多彩だ。専門家による選考を経て、来年1月に大賞など各賞を発表する。

第1次選考は地方新聞45紙と共同通信社が実施した。地域づくりの課題に挑むNPO法人や市民団体を

対象に、都道府県ごとに原則1団体を推薦した。

上毛新聞社は、甘楽町で国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊の研修を受け入れており、住民や行政と一体となって国際交流や農村振興、定住・交流人口増に取り組むNPO法人「自然塾寺子屋」（矢島亮一理事長）を社内選考を経て推薦した。

100万円）、準大賞2団体（同30万円）のほか、ブ

ロック賞（同10万円）や特別賞（同10万円）、優秀賞をそれぞれ決定する。表彰式・シンポジウムを来年2月に東京都内で開く。

地域再生大賞は2010年度に設けた。大賞には、これまで「グラウンドワーク三島」（静岡）、「ブルーリバー」（広島）、「島の風」（沖縄）、「はやめ南人情ネットワーク」（福岡）、「てこねつと石見」（島根）が輝いている。